

平成30年度 下野市決算について

下野市の平成30年度の決算がまとまり、9月開催の議会の市議会定例会で承認されましたので、お知らせします。

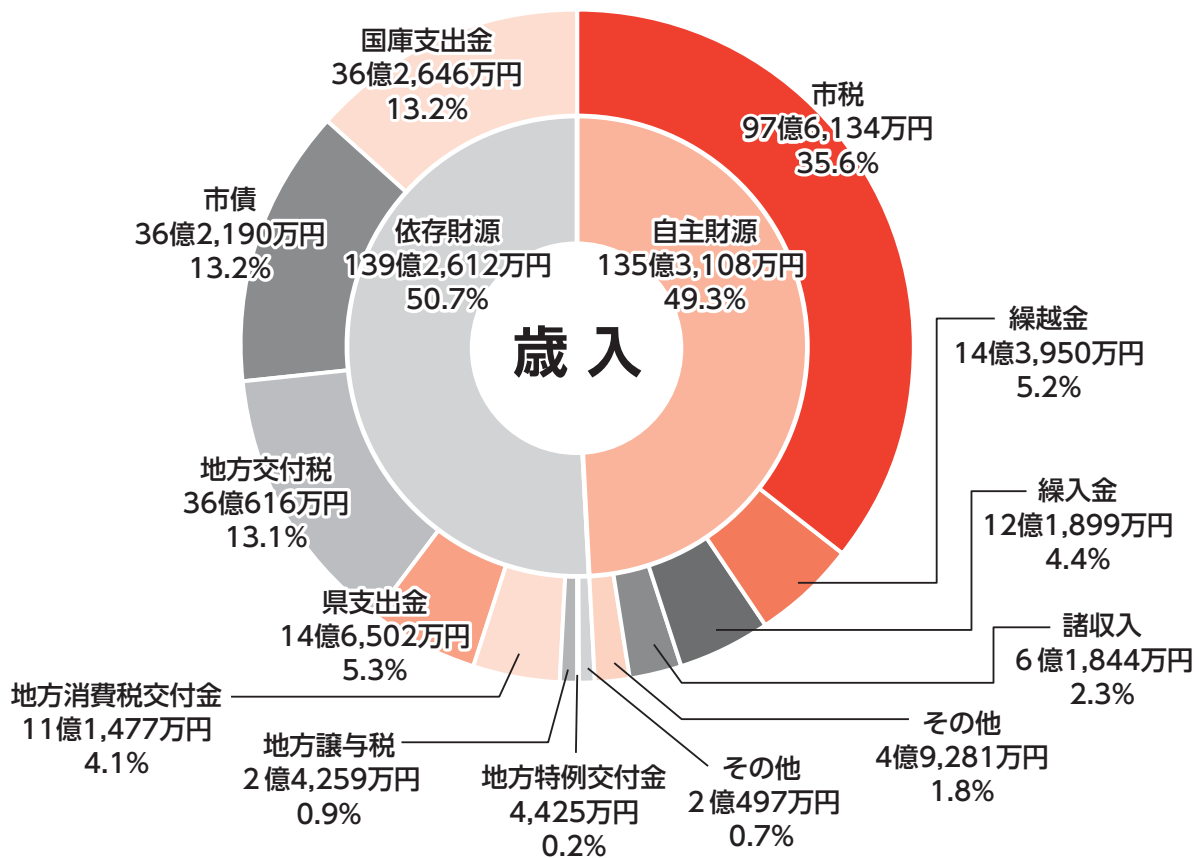
● 一般会計の決算規模と収支

平成30年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計を合わせた決算額は、歳入総額423億9,422万円、歳出総額401億993万円となりました。

一般会計については、歳入総額が274億5,720万円、歳出総額が257億2,770万円で、前年度と比べて、歳入が22億8,527万円、9.1%増加し、歳出も19億9,527万円、8.4%増加し、歳入と歳出の差引額は、17億2,950万円となりました。

● 一般会計

歳入の状況 **274億5,720万円**



■ 市税収入の増加

給与所得の増加による個人市民税の増、新增築家屋の増加や新規の設備投資による固定資産税の増などにより、前年度に比べて1億5,297万円、1.6%の増となりました。市税全体の徴収率は96.9%で、前年度より0.5%上昇しました。

■ 地方交付税の増加

普通交付税は、交付税算定基礎となる基準財産収入額において、市民税や固定資産税等が増となり、基準財政需要額においても、前年度に比べて1,195万円増の30億7,824万円となりました。地方交付税全体では、前年度に比べて1,197万円、0.3%の増となりました。

■ 国庫支出金の増加

主なものは、公園整備事業費、児童手当負担金、生活保護費負担金、障がい者自立支援給付費負担金、子どものための教育・保育給付負担金で、前年度に比べて5億2,706万円、17.0%の増となりました。

■ 県支出金の減少

主なものは、子どものための教育・保育給付県費負担金、障がい者自立支援給付費負担金等で、前年度に比べて1億1,230万円、7.1%の減となりました。